

ケアプランのBCP 押さえておくべきポイント

ケアプランにどのように表現すれば良いのか、どこに何を書けば良いのか、お困りの方が多いはず。例文を上げながら、計画書のどこに記すかお話しします。

大災害が発生！どうなるでしょう？

- ・自分、自分の家族、従業員、従業員の家族は大丈夫？
- ・事業所はどうなっている？
- ・情報共有ができるようにしてある？

BCPとは？

Business Continuity Plan

事業継続計画

1. 災害時に特定された重要業務が中断しないこと
2. 万一事業活動が中断した場合に目標復旧時間内に重要な機能を再開させること

**ケアプランに載せる前に、事業者としての
BCPができているのが前提です。**

来年3月末日までにケアプランにBCPを載せていくには
今からでも大丈夫です！

BCPのポイント

1. 人
2. もの
3. 金
4. 情報

BCPのポイント

1. 人

- ・管理者、従業員を含め、いつから事業を再開 できるか？

BCPのポイント

2. もの

- 事業所の損壊状況は？（つかるか使えないか代替場所は）
- インフラは大丈夫か？
- PC、プリンター、通信、移動手段は大丈夫か？

BCPのポイント

3. 金

- 運営資金は大丈夫か？
- 事業を中断した場合の損失は？
- 損害補償の額は大丈夫か？
- 被災時復旧被災時復旧を目的とした融資制度を知っていますか？

BCPのポイント

4. 情報

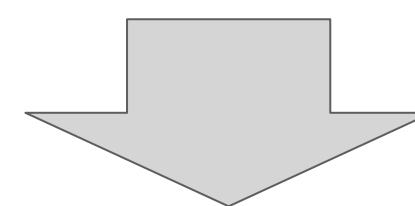
- ・事業所のハザードマップを確認しましたか。
- ・従業員、事業者、利用者様、その家族、公共機関との情報共有の方法は？
- ・情報のコピー、バックアップはありますか？もしかの時の共有方法は？
- ・IT機器の故障の場合の代替方法は？

ケアプランに載せるBCPとは？

1. 居宅介護支援事業が災害時に途切れることなく実施されるようにすること
2. 利用者さんのことについては安否確認の方法、連絡先の情報を記入
3. 利用者さんの避難の援助者がある場合は記入（個別避難計画を含め）
4. 避難する場所については、災害の状態によって特定できない場合もある
5. 生活の場所、寝台・寝床の場所を記入しておく

事業所の被災、職員の被災による欠員 他事業所との連携

事業所の被災で事務所が使えない、ケアマネジャーが被災して仕事ができない場合に備える。



他の複数の事業所と協定を結び、災害時の事業運営に関する協力、応援について円滑に行えるようにしておく。

ケアプランにそのことを記入することで災害時にも利用者様の介護支援ができる限り早く円滑に提供できるようになることを示す。

災害時応援協定書

近年頻発する大災害の発生に際して、BCP（事業継承計画）が重要視されている。

できる限り途切れなく事業を再開することができるよう、法人同士の協定を結び、今後の大規模災害時の業務に関し、〇〇〇〇法人 居宅介護支援事業所 〇〇〇〇（以下「〇〇〇〇」という。）及び〇〇〇〇法人 居宅介護支援事業所 〇〇〇〇（以下「〇〇〇〇」という。）は、次のとおり災害時応援協定（以下「協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、被災事業所の運営、協力が迅速かつ円滑に実施されるよう、必要な事項を定めるものとする。

（協定の内容）

第2条 この協定に基づく協定内容は、次のとおりとする。

- (1) 災害応急復旧に必要な職員の派遣協力
- (2) 食料、飲料水及びその他の生活必需品の提供
- (3) 避難及び収容、事業運営等のための施設の提供
- (4) 事業所機能維持に必要な場所、資機材及び物資の提供
- (5) 人員欠員の場合の介護支援事業の代理執行
- (6) その他被災状況によっては、事業所の借上げ、資材の共有等

（応援要請の手続き）

第3条 被災事業所の管理者は、次の各号に掲げる事項を明らかにし、応援を別紙（様式1）により要請するものとする。

- (1) 災害の状況
- (2) 災害時業務の協力内容
- (3) 協力の期間
- (4) 協力の場所
- (5) その他必要な事項

2 前2項の規定による要請は、電話、FAX、LINE等（以下「電話等」という。）により行い、後日速やかに文書を提出するものとする。

（応援の実施）

第4条 前条第1項の規定により要請を受けた事業所の管理者は、被災事業所の管理者に対し、応援内容を電話等により連絡し、直ちに応援を実施するものとする。

2 前条第2項の規定により要請内容の伝達を受けた事業所の管理者は、同法人の代表者に対し、その旨を伝達するものとする。

（自主応援）

第5条 応援施設の長は、災害の状況に鑑み、特に緊急を要し、かつ被災事業所の管理者が第3条に規定する要請を行うことができない状況にあると判断されるときは、同条の要請

を待たず、第2条の応援を実施することができるものとする。この場合には、同条の要請があったものとみなす。

（応援費用の負担区分）

第6条 応援に要した費用は、協定を結んでいる法人で折半するものとする。

（他の協定との関係）

第7条 この協定は、〇〇〇〇及び〇〇〇〇が独自に策定している「事業継続計画（BCP）」等に基づき締結している他の相互応援協定を排除するものではない。

（その他）第8条 この協定の実施に関し必要な事項については、〇〇〇〇及び〇〇〇〇が協議して別に定めるものとする。

（適用）第9条 この協定は、令和〇〇年〇〇月〇〇日から適用する。この協定の締結を証するため、協定書には〇〇〇〇及び〇〇〇〇の各施設長が記名、押印の上、本書2通を作成し、各自1通を所持するものとする。

令和 年 月 日

〇〇〇〇法人 居宅介護支援事業所 〇〇〇〇 （法人代表者） 印

〇〇〇〇法人 居宅介護支援事業所 〇〇〇〇 （法人代表者） 印

ケアプランに載せるBCPの事例 ①

「総合的な援助の方針」

事例一2

災害時に備えて「事業継続計画」を作成し、もしもの場合に備え、信頼のおける他の事業所と「災害時応援協定」を結び、切れ目なくサービス提供できるよう協力応援体制を構築しています。また、サービス事業所とも連絡が取れる連絡体制を整え、安否確認の情報共有し、利用者様に適切にサービス提供ができるようにしてまいります。

緊急連絡先：長男 ○○(○○○○)○○○○ 長女 ○○(○○○○)○○○○

主治医 ○○(○○○○)○○○○ CM事業所 ○○(○○○○)○○○○

ケアプランに載せるBCPの事例 ②

「総合的な援助の方針」

事例一2

災害時には事業所として事業継続計画書を作成し、もしもの場合に備えて〇〇〇法人の他のグループ内事業所と連携し、できるだけ早く事業が再開できるよう、法人の事業継続計画（BCP）の中でも定めています。

また、サービス事業所とも連絡が取れるネットワークを整え、安否確認の情報を共有し、より利用者様に適切に早くサービス提供ができるようにしてまいります。

緊急連絡先：長男 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 長女 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇

主治医 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 CM事業所 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇

第1表	居宅サービス計画書（1）		作成年月日		○年○月○日	
初回 ・ 紹介 ・ 継続 認定済 ・ 申請中						
利用者名		介護 花子 殿		生年月日 年 10 月 12 日 住所 大阪市東住吉区		
居宅サービス計画作成者氏名		介護 太郎				
居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地		〇〇居宅介護支援事業所 大阪市東住吉区				
居宅サービス計画作成(変更)日		○ 年 ○ 月 ○ 日		初回居宅サービス計画作成日 ○ 年 ○ 月 ○ 日		
認定日		○ 年 ○ 月 ○ 日		認定の有効期間 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ～ ○ 年 ○ 月 ○ 日		
要介護状態区分		要支援1 ・ 要支援2 ・ 要介護1 ・ 要介護2 ・ 要介護3 ・ 要介護4 ・ 要介護5				
利用者及び家族の生活に対する意向		本人: 息子たちに心配をかけないようにしたい。近所に知り合いがいないので、一人でいる時が心配になる。 「川柳や俳句の会にこれからも参加したい。お風呂に入ると体の痛みもとれて生き返ります。」と話す。 長男: 入浴の世話や日中など私の不在時の介護や安全への配慮をお願いしたい。できるだけ外に出て、楽しみを作ってやりたい。 ※地震等、災害発生時への不安が大きい、災害が起こった場合には、本人が安全に避難が出来るようにしておきたい。				
介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定						
総合的な援助の方針		少しずつこちらの生活に慣れてきているようです。「長男のところに来て本当によかった」と思っていけるように ご近所とのつながりや地域の社会資源を活用しながら、安心してこの町で生き生きと暮らしていけるようにしていきましょう。 ※災害時に備えて「事業継続計画」を作成し、もしもの場合に備え、信頼のおける他の事業所と「災害時応援協定」を結び、切れ目なくサービス提供できるよう協力応援体制を構築しています。また、サービス事業所とも連絡が取れる連絡体制を整え、安否確認の情報共有し、利用者様に適切にサービス提供ができるようにしてまいります。 緊急連絡先: 長男 090-xxxx-xxxx 次男 03-xxxx-xxxx 主治医 03-xxxx-xxxx 〇〇介護支援事業所 06-xxxx-xxxx				
生活援助中心型の算定理由		1 一人暮らし 2 家族等が障害、疾病等 3 その他 ()				

居宅サービス計画書 (2)

利用者名 介護 花子 殿

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	援助目標				援助内容					
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	※ 1	サービス種別	※2	頻度	期間
お風呂に入って心も身体もリフレッシュしたい。	膝の痛みが増強しないように、身体の清潔を保ち心身ともに温ま	～	冬の寒い時期を皮膚のトラブルなく健康でいられるようにす	～	本人のペースで着脱・移乗・洗身介助、座位保持の支援や皮膚観察。	○	通所介護	○○デイサービスセンター	週3回	～
昔からやっていた手芸や川柳を行っていきたい。		～		～		○	通所介護	○○デイサービスセンター	週3回	～
昼食の用意や投薬の管理を支援してほしい。		～		～		○	訪問介護	○○訪問介護センター	週2回	～
長男の長期出張や不在時の対応を考えたい。		～		～		○	短期入所生活介護	○○短期入所事業所	必要時	～
地震等の災害が発生しても、安心して過ごせるように予め対応策を立てて（考えて）おきたい	自宅の安全が確保されること。また、発災時には、迅速な避難支援が受けられ適切にケアが受けられるようにする。	～	災害時要援護者台帳への登録の必要性について確認する	～	台帳登録への必要性を説明し、登録手続きを行う。		災害時要援護者支援	自治会、民生委員	－	～
			近所の方との繋がりが出来、発災時、迅速な避難支援が受けられるよう、自治会を始め関係機関と連携し、避難支援に関する役割分担を明確にしておく	～	日々の地域行事等へも車いすで積極的に参加し、近隣住民との繋がりを深める		地域ボランティア、自治会	地区福祉委員 民生委員 近隣住民	随時	～
					発災時には、自宅→避難所→○○短期入所事業所又は、△△医療機関の順での避難支援が迅速にできるよう確認をしておく		状態確認 避難支援 避難生活支援	避難支援者となる近隣支援者、自治会等の地域関係者	随時	～
					発災時、適切なケアが受けられるよう、介護保険事業所と情報共有を行い、担当者会議を開き適切にケアしていく	○	状態確認 必要なら再アセスメント 避難生活支援	居宅介護支援事業所、地域包括及びケアチーム（主治医、通所事業、訪問介護、短期入所等）	随時	～
			自宅の安全確保が出来るようにする。	～	耐震診断や耐震補強工事の助成申請を行い、必要な対策を行う		家族 ○○役所	長男 ○○課 ○○課	随時	～
					助成申請を行い、家具転倒防止（予防）器具等の取付を行う					